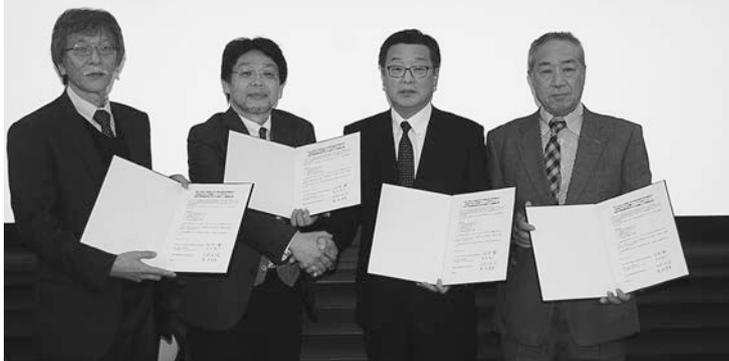


浜の振興に向け北大等との連携協定締結



タウン情報

国立大学法人北海道大学大学院水産科学研究院及び
北海道大学北方生物圏フィールド科学センターと
福島吉岡漁業協同組合並びに福島町との連携協定調印式



▲左から本村センター長、安井研究院長、鳴海町長、阿部組合長

1月25日(月)、青函トンネル記念館において、国立大学法人北海道大学大学院水産科学研究院(安井肇研究院長)及び北海道大学北方生物圏フィールド科学センター(本村泰三センター長)と福島吉岡漁業協同組合(阿部国雄組合長)並びに福島町との連携協定を締結しました。

水産技術の発展、水産資源の活用、地域振興や教育・人材育成など、幅広い分野において、四者で連携して取り組みを進めることとしております。

調印式では、安井研究院長、本村センター長、阿部組合長、鳴海町長それぞれが協定書に署名した後、力強い握手を交わしました。

調印式終了後に開催された記念講演会では、水産科学研究院の足立伸次教授による「産学官連携による豊かな海の創生」、北方生物圏フィールド科学センターの山羽悦郎副センター長による「サケ・マス類の品種改良と福島町での養殖の展望」と題して、それぞれ講演をいただき、約50名の出席者は北大との連携による浜の未来に期待を寄せておりました。

この度の北大等との連携協定により、実学の東京農業大学、情報技術のはこだて未来大学、そして、水産技術の北海道大学と、3つの大学の力強い支援により、浜の振興を進める体制が整いました。



▲連携協定調印を記念して、関係者全員で記念撮影

歌で楽しいひととき 第10回温泉感謝まつり



▲出演者のみなさん

2月7日(日)、吉岡温泉ゆとらぎ館で、第10回温泉感謝まつりが開催されました。

当日は、町内のカラオケサークル4団体(福島歌謡研究福声会・カラオケサークル友声会・福島みことの会・福島カラオケ友の会)の会員による歌が披露され、盛大な拍手が送られ、参加した皆さんは楽しいひとときを過ごしました。